



2022年2月24日

各 位

会 社 名 ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 橋爪 克仁
(コード：6090、東証マザーズ)
問合せ先 取締役コーポレート統括本部長 大畑 恭宏
(TEL. 03-3551-2180)

＜マザーズ＞投資に関する説明会開催状況について

以下のとおり、投資に関する説明会を開催いたしましたので、お知らせいたします。

○開催状況

開催日時	2022年2月24日	15:00～16:00
開催方法	ライブ配信による開催	
説明会資料名	2022年6月期 第2四半期決算説明会資料	

【添付資料】

投資説明会において使用した資料

以上



Human Metabolome Technologies, Inc.

2022年6月期第2四半期 決算説明資料

2022年2月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2022年6月期 第2四半期 決算報告
2. 2022年6月期 通期業績予想・方針
3. 事業進捗・今後の開発予定等

参考資料



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

目次

1. 2022年6月期 第2四半期 決算報告
2. 2022年6月期 通期業績予想・方針
3. 事業進捗・今後の開発予定等



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 事業（セグメント）の変更について



経営方針・戦略の変更に伴い、2022年6月期より事業（セグメント）を変更しております。

従来の「メタボロミクス事業」から「先端研究開発支援事業」、「バイオマーカー事業」から「ヘルスケア・ソリューション事業」へ変更しております。

以降、本資料の事業内容は新事業にて記載しております。

先端研究開発支援事業の受注拡大・
全社的な業務の効率化や一般管理費の削減に取り組む
第2四半期としては上場以来初の当期純利益を計上

(単位：百万円)
(表中の△は損失・百万円未満切捨て)

	2021年6月期 第2四半期	2022年6月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	537	533	△ 4	-0.7%
営業利益	2	76	74	-
経常利益	△ 2	82	84	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 7	82	89	-
1株当たり当期純利益	△ 1.24	13.92	-	-

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

セグメント別実績

(単位：百万円) (表中の△は損失・百万円未満切捨て)

セグメント売上高	2021.6 2Q	2022.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業 (旧メタボロミクス事業)	535	531	△ 4
ヘルスケア・ソリューション事業 (旧バイオマーカー事業)	2	2	0
合計	537	533	△ 4

セグメント費用	2021.6 2Q	2022.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業 (旧メタボロミクス事業)	476	398	△ 78
ヘルスケア・ソリューション事業 (旧バイオマーカー事業)	58	58	0
合計	535	457	△ 78

営業利益	2021.6 2Q	2022.6 2Q	増減額
先端研究開発支援事業 (旧メタボロミクス事業)	58	133	74
ヘルスケア・ソリューション事業 (旧バイオマーカー事業)	△ 56	△ 56	0
合計	2	76	74

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

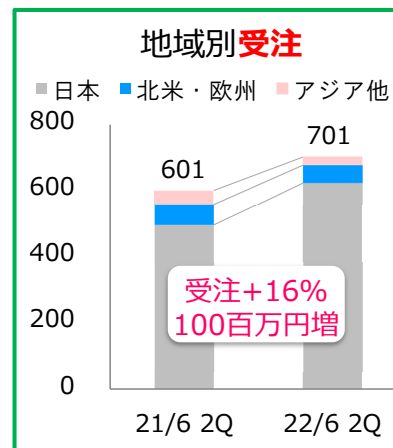
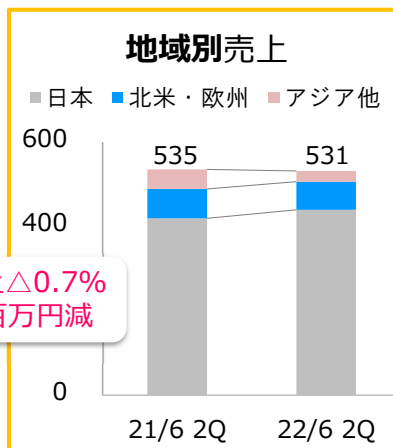
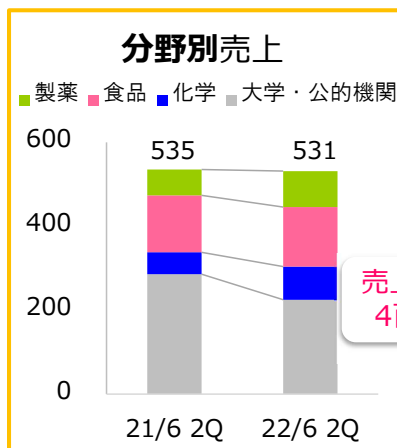
(単位：百万円)

セグメント売上

	2021.6 2Q	2022.6 2Q	増減額
先端研究開発 支援事業	535	531	△ 4
ヘルスケア・ ソリューション 事業	2	2	0
合計	537	533	△ 4

前年と同水準の売上を計上 (前年同期比4百万円減)

- WEBを活用した営業展開（ウェビナーなど）
- 高感度網羅解析サービス拡販に注力
- ヒト検体の解析試験が堅調に推移
- アカデミアは、大型案件が仕掛で残り、第3四半期に売上計上の予定。
- 全体の受注額は好調に推移。



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

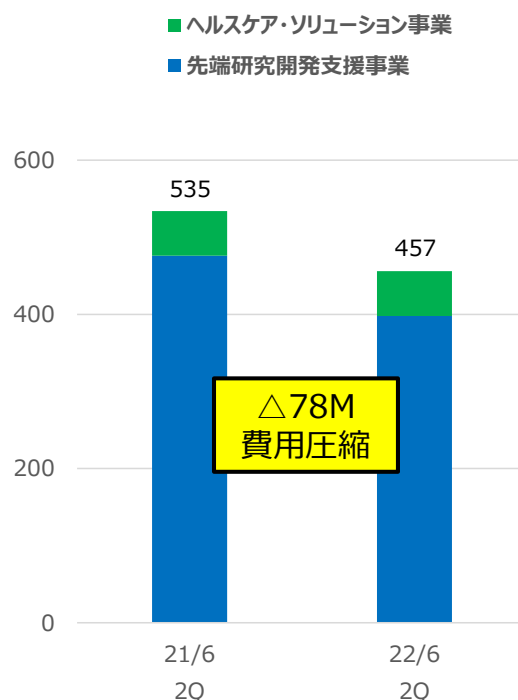
セグメント費用

(単位：百万円)

適切なコストコントロールの継続

- 全社的な業務の効率化
- 欧州子会社閉鎖に伴うコスト減少

	2021.6 2Q	2022.6 2Q	増減額
先端研究開発 支援事業	476	398	△ 78
ヘルスケア・ ソリューション 事業	58	58	0
合計	535	457	△ 78



報告セグメント別の経営成績をより適切に反映させるため、
全社費用を各セグメントに配賦しており、前期の情報につ
きましても同様の算定方法により作成したものを記載して
います。

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

目次

1. 2022年6月期 第2四半期 決算報告
2. 2022年6月期 通期業績予想・方針
3. 事業進捗・今後の開発予定等

HMT

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 2022年6月期 通期業績予想・方針

HMT

2022年6月期 方針

- **利益拡大**
 - ・新たな解析メニューの拡充・拡販により売上成長を目指す
 - ・生産性向上と適切なコストコントロールにより利益拡大を目指す
 - ➔これらの取組みに努めた結果、通期の各利益を上方修正しました。
- **開発プロジェクトの推進と新たな事業領域の開拓**
 - ・メンタルヘルス関連分野の早期の事業化に向け研究開発を推進する
 - ・ヘルスケア分野における新規事業の創出に取り組む

(単位：百万円)

	2022年6月期	(ご参考) 前期 2021年6月期	差額
売上高	1,200	1,124	+76
営業利益	120	39	+81
経常利益	120	59	+61
親会社株主に帰属する当期純利益	120	58	+62
一株当たり当期純利益	20円34銭	9円87銭	-

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

目次

1. 2022年6月期 第2四半期 決算報告
2. 2022年6月期 通期業績予想・方針
3. 事業進捗・今後の開発予定等

HMT

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

■ 2025年までの基本戦略

HMT

基本戦略

基盤となる**先端研究開発支援事業**の持続的収益拡大と
ヘルスケア・ソリューション事業の早期確立

先端研究 開発支援事業

平均年率7%以上の売上拡大を目指す

- ① 受託解析サービスメニューの**拡充**および**新規開発**
- ② 受託解析業務の**生産性向上**
- ③ メタボロミクスユーザーへの**アップセル・クロスセル**

ヘルスケア・ ソリューション 事業

5年後を目処に持続的な売上が計上できる事業に成長させ、
セグメント利益の黒字化を目指す

- ① バイオマーカー開発サービスおよび自社開発マーカーの
早期収益化に向けた取り組み
- ② ヘルスケア・ソリューション開発事業の立ち上げ

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

基礎研究領域

ヘルスケア関連領域

先端研究開発
支援事業

ヘルスケア・
ソリューション事業

メタボロミクス (+α)
解析受託サービス

ヘルスケア・ソリューション
開発サービス

バイオマーカー
開発サービス

最先端研究の
ブレークスルーに貢献

ヘルスケア関連企業が抱える
研究課題の解決に貢献

ヘルスケア関連領域における新事業創出ニーズの高まり

- 未病・予防といった健康寿命延伸を目的とした研究開発
- 様々な機能性素材の開発
- 健康に寄与するソリューション開発

<キーワード> 免疫強化、メンタルヘルス、Well-being、QOL向上 etc...

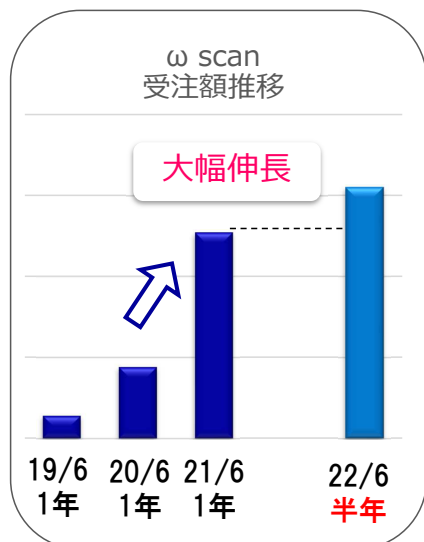
本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

■ 先端研究開発支援事業進捗状況

新たなメタボロミクスメニューの拡充

高感度網羅解析メニュー
(ω scan) へのニーズ
が高まっている。



■ ω Scan オプションメニュー拡充 (2022年2月開始)

—高感度網羅解析メニュー「ω Scan」に加え、これまで報告対象としていなかった未同定の物質も含めて解析。より多くの情報を提供するオプションメニュー。

—先端研究を支援

- ・創薬分野における新規標的化合物探索
- ・食品機能性成分の広範囲なスクリーニング
- ・未知のバイオマーカー探索など

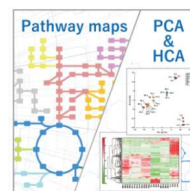
未同定ピークも含めて報告する、水溶性・イオン性の代謝物質の高感度ノンターゲット解析プラン



1,000種以上の水溶性・イオン性代謝物質を測定可能



加えて、検出されたすべての未同定ピークの質量電荷数比とピーク強度も報告



測定結果を代謝経路に描画したパスウェイマップ、主成分分析、ヒートマップが付属

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

メタボロミクスに加え、新たな解析サービスを拡充

■ **リピドミクス**の展開

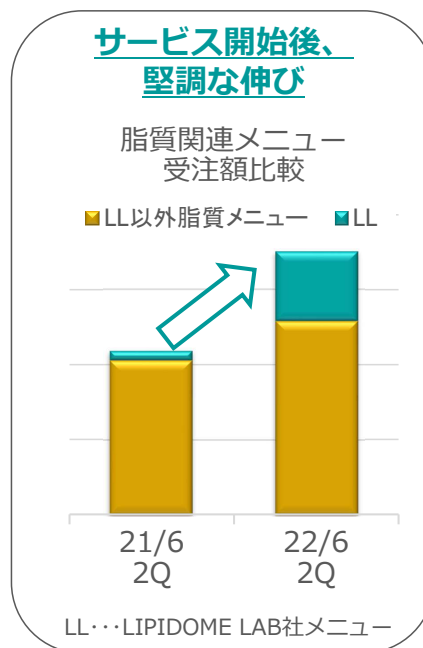
— **脂質解析に特化**したサービスを強化・拡充。

— 脂質関連の研究開発を支援。

- ・ 基礎研究分野
- ・ 創薬、病態解明、診断マーカー等の医療分野
- ・ サプリメント開発、品質評価等の食品分野
- ・ 皮膚セラミド評価等の美容・化粧品分野 等

基礎研究分野に加え、

医療分野、ヘルスケア分野での応用が活発化している。



自社開発マーカーの社会実装に向けて

メンタルヘルス

- 精神状態の評価指標の開発に向け、マルチマーカー（複数因子）の研究に取り組む。
- 予防・モニタリングでの利用を想定し、協業候補先との共同研究に関する協議を実施中。（例：健康経営におけるメンタルヘルス不調予防、復職支援等）

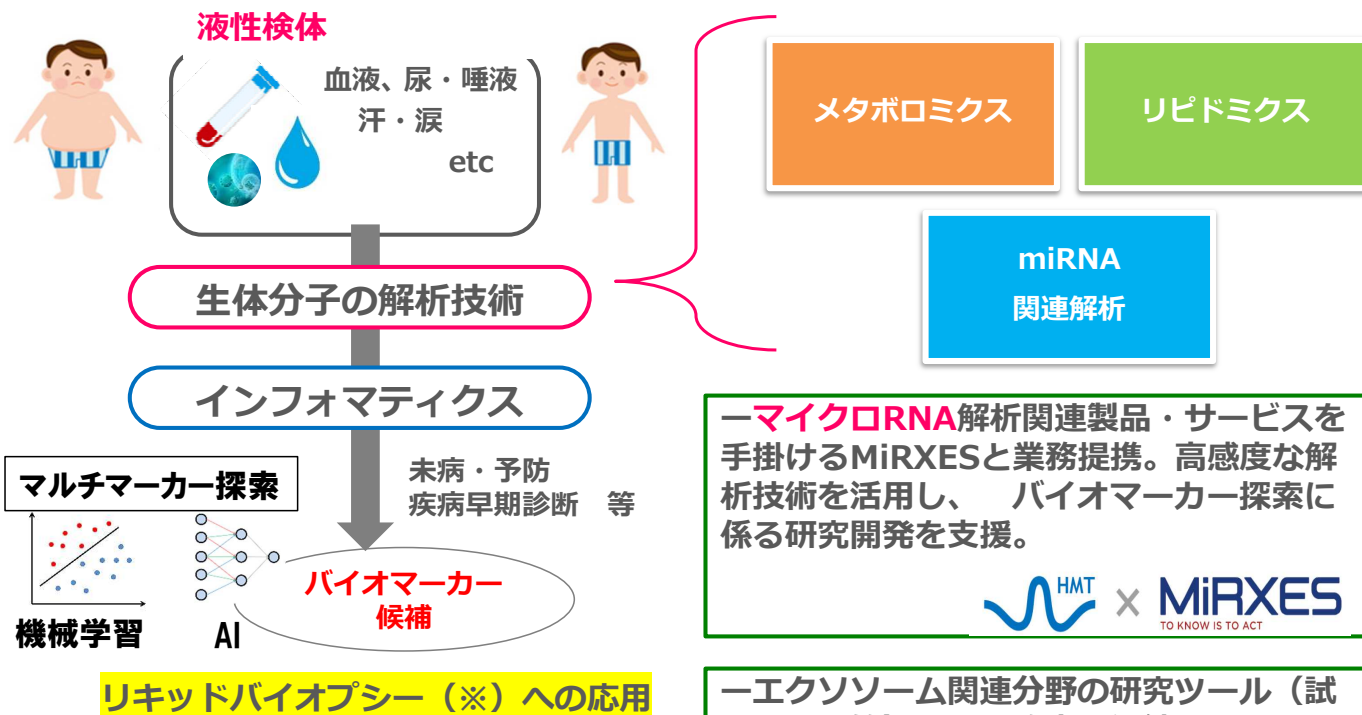
軽度認知障害等

- 共同研究講座「メタボロミクスイノベーション学」（弘前大学）での研究開発。
- 多検体でのマーカーの検証の検討継続。

当社のSDGsの達成目標の一つである【目標3：すべての人に健康と福祉を。】の取り組みとして、**メンタルヘルスや認知症**といった**社会課題に貢献すること**を目指して研究開発を進めてまいります。



リキッドバイオプシー（※）におけるバイオマーカー探索支援



リキッドバイオプシー（※）への応用

※侵襲性の少ない液性検体を用いた検査、解析技術。
リキッドバイオプシーの世界市場規模は、2022年には約2050億円、年平均成長率23%とも言われている。
(AMED「医療機器開発のあり方に関する検討委員会」(2018年3月)の検討結果資料より当社試算(1ドル100円換算))
本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

マルチバイオマーカー探索支援「メタボロインデックス™」

■ マルチバイオマーカー探索サービス開始（2021年12月）

—メタボロミクスと機械学習を組み合わせることで、複数のバイオマーカー（マルチバイオマーカー）を探索し、従来のシングルマーカーに比較して高精度な判別精度となるバイオマーカーを見出すことが可能に。

—論文の査読において、機械学習を用いたメタボロミクスマルチマーカー探索ニーズの高まりに対応。

- ・ **医学分野**における臨床研究等
- ・ **ヘルスケア分野**での健康寿命の延伸等を目的とした（未病・予防）健康指標開発等

—本ソリューションの提供を通じて、研究者の幅広い研究開発を支援することを目指す。

—今後もオミクスとバイオインフォマティクスを駆使したバイオマーカー探索サービスの拡充を検討。



当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、
最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を
活用した研究開発により、
人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

19

参考資料



ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,481百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）
大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学先端生命科学研究所所長

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：先端研究開発支援事業

ヘルスケア・ソリューション事業

売上高（直近）：1,124百万円

従業員数（2021年6月末現在 連結）：

77名（博士：17名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ

アメリカボストン

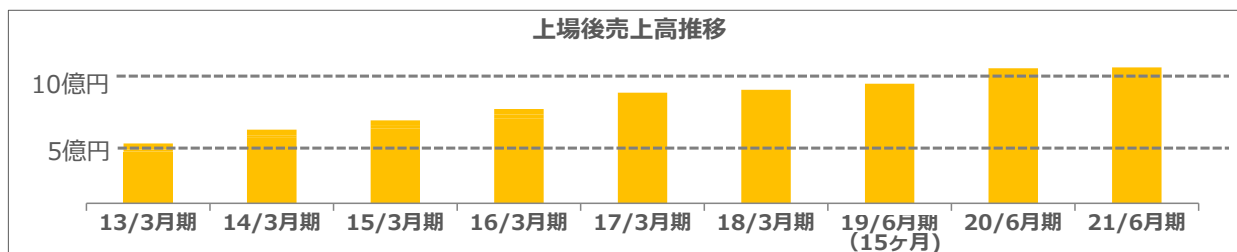
（2021年12月末現在）

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。21

© Human Metabolome Technologies, Inc.

■ 会社概要（沿革）

- 2001 ● 慶応大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
● 上場（東証マザーズ：6090）
- 2013 ● うつ病バイオマーカー基本特許登録（日本）
米国（2015年）、中国（2015年）、欧州（2019年）
- 2015 ● 第9回 日本バイオベンチャー大賞受賞
● PEA測定に関する特許登録（日本）
- 2016 ● HMTバイオメディカル株式会社設立（2021年1月HMTと統合）
● エムスリー株式会社との資本業務提携
- 2018 ● 大うつ病性障害バイオマーカーに関する論文掲載
- 2019 ● 弘前大学寄付講座「メタボロミクスイノベーション学」開設
● 軽度認知障害バイオマーカー特許出願（日本）



本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

当社の企業理念・パーパス

「未来の子供たちのために、最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を活用した研究開発により、人々の健康で豊かな暮らしに貢献する」

当社が目指す方向性

【ヘルスケア・ソリューション・プロバイダー】
ヘルスケア研究開発に携わる人々のベストパートナーとして、画期的なヘルスケア製品・サービスの創造に貢献する。

当社のSDGsへの取り組み



【目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう。】

当社の技術・ノウハウを提供することで産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に貢献する。



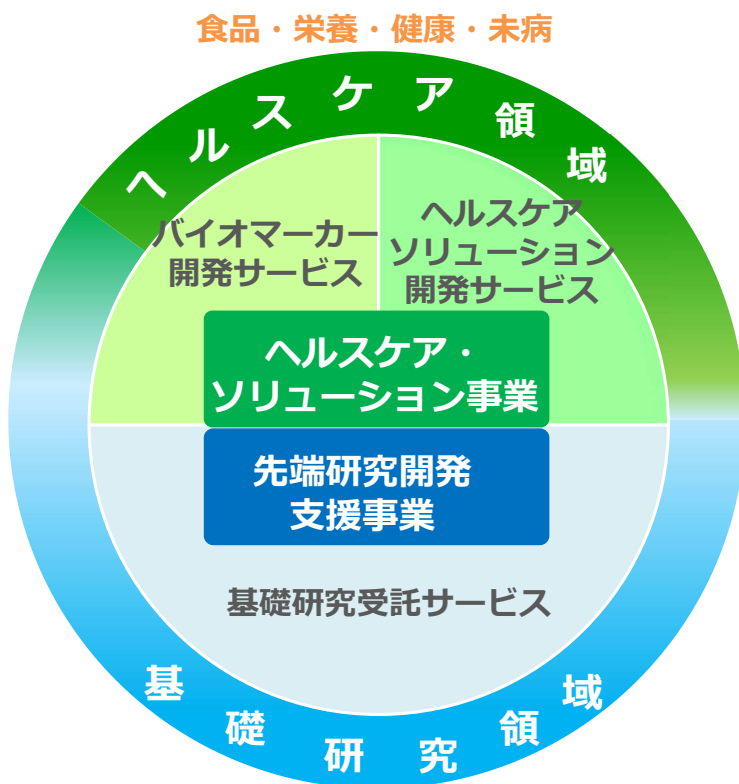
【目標3：すべての人に健康と福祉を。】

当社の研究開発支援の結果、クライアント企業及び自社の製品化・サービス化により、健康危険因子の早期警告・緩和・管理、感染症などへの予防・対処、精神保健などの改善に貢献していく。

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

■ 事業概要サマリー



先端研究 開発支援事業

ヘルスケア・ ソリューション事業

内容

- ・メタボロミクス受託
- ・他オミクス受託、新分子種の受託解析

- ・既存開発マーカーの実用化
- ・バイオマーカー探索
- ・ヘルスケアR&D支援
- ・自社機能性素材開発
- ・Exosome関連開発

収益構造

- ・受託試験

- ・ライセンス
- ・ロイヤリティ
- ・マーカー探索受託
- ・受託検査
- ・製品販売
- ・コンサルティング

顧客

- ・アカデミア
- ・製薬企業
- ・食品企業
- ・化粧品企業等

- ・製薬企業
- ・診断薬企業
- ・食品企業
- ・化粧品企業
- ・(食品) CRO
- ・クリニック
- ・機能性素材製造販売企業等

(*) オミクス、メタボロミクス
生体中に存在する分子全体を網羅的に研究する学問のことをオミクスと言い、代謝物であればメタボロミクス、遺伝子はゲノミクス、たんぱく質はプロテオミクス等と言います。

本資料の一部またはすべての複製・転載は、お断りいたします。

© Human Metabolome Technologies, Inc.

基本戦略

基盤となる**先端研究開発支援事業の持続的収益拡大**と
ヘルスケア・ソリューション事業の早期確立

先端研究 開発支援事業

平均年率**7%以上**の売上拡大を目指す

- ① 受託解析サービスメニューの拡充および新規開発
- ② 測定解析の生産性向上
- ③ メタボロミクスユーザーへのアップセル・クロスセル

ヘルスケア・ ソリューション 事業

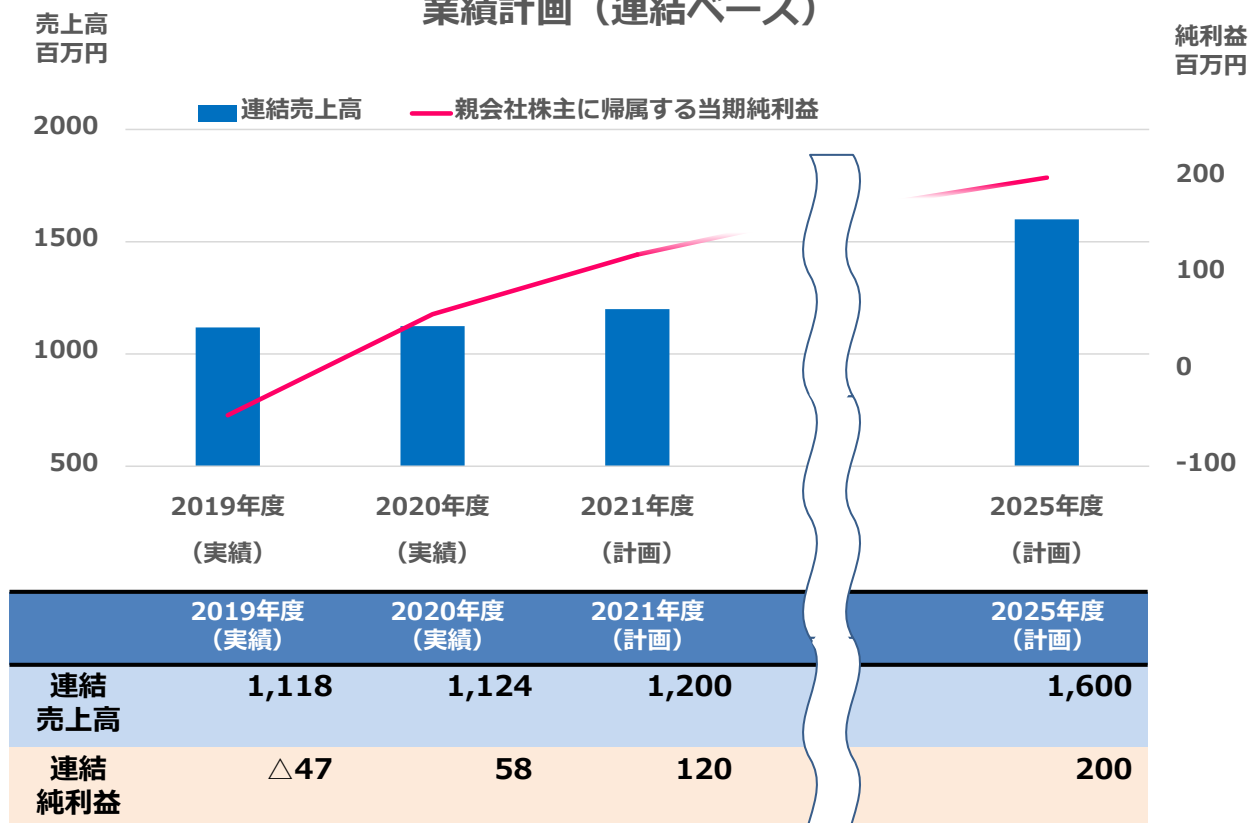
5年後を目処に
持続的な売上が計上できる事業に成長させ、
セグメント利益の黒字化（全社共通費の配賦を除く）
を目指す

- ① バイオマーカー開発サービスおよび自社開発マーカーの早期収益化
- ② ヘルスケア・ソリューション開発事業の立ち上げ

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.

業績計画

業績計画（連結ベース）



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。
© Human Metabolome Technologies, Inc.